

令和 2 年度

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

社会福祉法人滑川町社会福祉協議会

令和2年度事業報告書

滑川町社会福祉協議会は各種福祉事業等を推進することにより、高齢者や障害者、さらには様々な家庭環境におかれていても、人々が支えあい、安心して住み続けられる地域づくりを築くことを基本とし組織をされております。

しかしながら、一昨年に中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は世界中を恐怖に巻き込み、我が国においても医療崩壊や目に見えないウイルスに対する不安、そして感染防止の策として人流を止めるための、初めて経験する緊急事態宣言発出により、人々の行動は制限され、新たな生活様式が強要され、私たちの生活は一変させられる事態となりました。

滑川町においても、感染防止のため公共施設の利用や三蜜防止の観点から人々が集まる集会や会議、イベント等が中止或いは制限を余儀なくされ、当協議会においても年度当初の理事会、評議員会をはじめ各団体の総会などは紙面による実施とし感染防止対策を図ってまいりました。

このような、制約下でありましたが各種主催事業の一つである高齢者を対象とした「いきいきサロン」は15年目を迎え、年度当初からの開催はできませんでしたが緊急事態宣言解除を待ち、規模の縮小や参加者の意向等を取りいれながら事業実施に工夫をこらし、高齢者の介護予防事業として事業を実施することができました。

一方、残念ながら地域福祉事業の一番のイベントであります敬老会の式典につきましても実施困難な事から中止と致しました。本来であれば、式典中実施すべき米寿の祝いについては記念品の発送に代えさせていただき、金婚式につきましても、17組の参加（該当者24組）をいただきコミュニティセンターで表彰をさせていただきました。

また感染対策上、非常に懸念をされました社会福祉協議会会員募集や会費の徴収、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金事業につきましても、各地域の福祉委員（各字区長）さんや福祉推進員（各字補助員）さんのご理解・ご協力により、予定通り実施をすることができました。

以下、令和2年度に実施した滑川町社会福祉協議会の諸事業について報告致します。

1. 社協運営

(1) 理事会の開催

〈 第1回 〉

○ 期日 令和2年5月15日

新型コロナウイルス感染予防のため書面同意

同意書提出者 15名

○ 議事

- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度社会福祉事業区分資金収支決算および監査報告について
- ・評議員選任・解任委員の選任について

〈 第2回 〉

○ 期日 令和3年3月25日 滑川町コミュニティセンター
出席者 12名 欠席者 2名 欠員 1

○ 議事

- ・社会福祉法人滑川町社会福祉協議会職員の再任用に関する事務取扱要綱の制定について
- ・社会福祉法人滑川町社会福祉協議会専門職員取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・社会福祉法人滑川町社会福祉協議会非常勤職員取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・令和2年度社会福祉事業区分会計資金収支補正予算について
- ・令和3年度事業計画について
- ・令和3年度社会福祉事業区分会計資金収支予算について
- ・評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催

〈 第1回 〉

○ 期日 令和2年5月15日
新型コロナウイルス感染予防のため書面同意
同意書提出者 34名

○ 議事

- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度社会福祉事業区分資金収支決算および監査報告について

〈 第2回 〉

○ 期日 令和3年3月25日 滑川町コミュニティセンター
出席者 30名 欠席者 3名 欠員 1

○ 議事

- ・社会福祉法人滑川町社会福祉協議会職員の再任用に関する事務

取扱要綱の制定について

- ・ 社会福祉法人滑川町社会福祉協議会専門職員取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・ 社会福祉法人滑川町社会福祉協議会非常勤職員取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・ 令和2年度社会福祉事業区分会計資金収支補正予算について
- ・ 令和3年度事業計画について
- ・ 令和3年度社会福祉事業区分会計資金収支予算について

(3) 監事会の開催

会計監査

○ 期日 令和2年4月27日 滑川町コミュニティセンター

出席者 監査委員 2名 事務局

- ・ 令和元年度事業執行状況及び社会福祉事業区分会計決算書の関係帳簿監査

2. 組織の強化と基盤整備の促進

○社協会員募集と会費の徴収

一般会員	3, 155世帯	3, 155, 000円
賛助会員	31口	93, 000円
特別会員	24口	120, 000円 (うち、法人15口)
合 計		3, 368, 000円

3. ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の需給調整

(2) 夏の体験ボランティア事業の実施 夏休み期間中の体験ボランティアは新型コロナウイルスの影響で夏休みが短縮された事を考慮し学生の募集は中止。メニューは家で個々に実施できる作業ボランティアメニューを9プログラム、9名の申し込みがありました。自宅でできる作業ならとシニア世代の参加者や身体機能の低下した方の参加もあり、事業は縮小しての実施となりましたが、社会の中で役割を見出す大切さを学ぶ機会となりました。

(3) ボランティア育成講座(中学生対象)は教育委員会、社協との共催で自主的・実践的なボランティア精神を養うことを目標に毎年開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

(4) 福祉協力校の指定 宮前小学校・福田小学校・月の輪小学校にお願いし、それぞれ独自の福祉教育に取り組んでいただきました。

(5) 福祉教育(福祉に関するの授業)の実施 近隣4社協合同で開催している

福祉教育の定例会【ふくふく木曜会】へ参加し、町内小学校で実施される福祉の授業参加の取り組みを実施しています。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり町内3小学校のうち2校で実施することができました。感染症対策をしながら福祉疑似体験、ワークなどをしながら、障害当事者にもゲストティーチャーとして参加してもらい、より実践的な形で学べるようにしました。

- (6) ボランティア講座 コロナ禍での講座開催方法を検討し、オンラインによる講座を実施しました。「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう」をテーマに社協登録ボランティア7名の参加をいただき、日本赤十字社さいたま県支部ともオンラインで繋げ、感染対策を万全にし実施することができました。

4. 調査研究、広報活動の実施

- (1) 社協だより第40号・ふれあい通信(No.38~No.43)を発行しました。
- (2) 会員募集及び介護保険事業所のPRを実施しました。

5. 各種地域福祉事業の積極的な実施

(1) 敬老会開催事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、敬老会は中止としました。米寿の方57名にはお祝いをいたしました。10月15日滑川町コミュニティセンターにて金婚式を行い、結婚50年を迎えたご夫婦24組の表彰を行いました。

(2) ふれあいいきいきサロン事業

高齢者の介護予防、閉じこもり防止、生き甲斐作りを目的とし、年間63回実施し、延べ757名の方に参加をいただきました。

地域包括支援センターとの共催で、血圧測定や健康運動等を取り入れ、さらに健康寿命の延長と介護予防の充実を図って参りました。

(3) 地域サロン補助事業

コロナ禍感染症の拡大防止に注意していただきながら7か所の「地域サロン」に対し、運営への協力・活動資金の補助を行いました。

(4) 地域支え合いサービス事業

元気なボランティアが援助の必要な高齢者を支えることで、ボランティア自身の介護予防と地域の商業振興につなげるしくみです。

- ・利用会員登録数 48名
- ・協力会員登録数 38名
- ・利用時間 203.5時間(157件)、去年は264件

(5) 生活支援体制整備事業

地域の支え合いを推進するため生活支援コーディネーターを配置し、地域住民の為の憩いの場開放事業を行いました。コロナの影響で3ヶ所の地区が中止となり、緊急事態宣言の解除を待ち、今できる地域活動として2ヶ所の地区がボランティア主体によるサロンへと移行することが出来ました。

- ・月輪中央集会所 3回 延べ利用人数 119人
- ・下向・古姓集会所及び和泉集会所 全会中止 検討・準備会のみ

(6) 高齢者等給食サービス事業

給食サービス希望者12名に延配食数770食を配食いたしました。

- ・実施日：毎週月曜から土曜日（週6日、ボランティアによる配食）

(7) 単身高齢者保養事業

新型コロナウイルス感染予防のため、中止としました。

(8) ふれあいのつどい

新型コロナウイルス感染予防のため、中止としました。

(9) 地域ふれあい事業

最近希薄になりがちな地域の連帯感や相互扶助を養い、世代間のふれあいと地域福祉の増進を図るため、各地区において実施をしていただきました。

また、実施にあたり社協会員割りで7月15日に助成金の交付を行いました。

(10) 福祉協力校補助事業

福祉協力校（小学校3校）に対し、7月15日に助成金交付を行いました。

(11) 老人クラブ連合会諸事業の助長及び助成

- ・事務局として事業への協力及び指導を行いました。
- ・7月15日助成金交付 老連及び15クラブに助成金交付を行いました。

(12) 低所得者福祉対策

新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業で収入が減少し、生活にお困りの世帯に向けて、生活福祉資金制度における緊急小口資金及び総合支援資金(生活支援費)の特例貸付を行いました。

ア 生活福祉資金の貸付（県社協関係）

- ・緊急小口資金（一時的に生活費が必要な時）
94件 15,200,000円
- ・総合支援資金の貸付（生活の立て直しまでに生活資金が必要な時）
55件 43,100,000円（延長も含む）
5件 2,550,000円（再貸付）

- ・総合支援資金(1人償還中)
- イ 福祉資金の貸付(町社協単独)
低所得者に対し、緊急生活費の貸付を行う制度です。
・11名に対し、16回の相談 合計 157,000円
- (13)新型コロナウイルス感染症に伴う生活困窮者等の食の確保事業
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で生活が困窮している方々に、レトルトパックご飯を配布しました。

6. 赤い羽根募金事業対策

(1) 各種募金活動の積極的展開

10月1日から10月31日の1ヶ月間実施、多くの皆様からご協力をいただきました。

(実績額)

・戸別募金	1, 713, 360円
・学校募金	43, 817円
・職域募金	120, 558円
合 計	1, 877, 735円

(2) 配分金による福祉事業

配分金は、県の共同募金会で指定された、下記の6事業を実施しました。

- ア 児童・青少年福祉活動費では、小学校新入学児童に対し、お祝い品(引き出し)の贈呈を行いました。
- イ 母子・父子福祉活動費では、児童扶養手当受給者で小・中学校入学児童がいる家庭(14名)に入学支度金の支給を行いました。
- ウ 福祉育成・援助活動費では、いきいきサロン事業費に充当しました。
- エ 地域ふれあい事業では、町内の15地区に事業費を交付しました。
- オ 啓発事業費では、社協だよりの発行を行いました。
- カ 生活応援援護金品配分事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯(39世帯)に、滑川町地域商品券を配布しました。

7. 歳末たすけあい募金事業対策

(1) 各種募金活動の積極的展開

11月1日から12月15日を期間とし、町民の皆様から多くのご協力をいただきました。

(実績額)

・戸別募金	1, 064, 230円
・企業募金	69, 256円
合 計	1, 133, 486円

(2) 配分金による福祉事業

- ア 低所得者歳末援護金品配分事業（対象者 28 世帯 54 人）
- イ 町内福祉施設、子育て施設に事業慰問金（28 施設）
- ウ 年末年始給食サービス
- エ 社協だよりの発行
- オ 生活応援援護金品配分事業（10 世帯）

8. 戦没者遺族福祉対策

(1) 遺族会諸事業の助長及び助成

遺族会事業への協力、指導及び7月21日に助成金交付を行いました。

9. 相談事業対策

(1) 心配ごと相談所の開設

毎月第3火曜日 午後1時から4時までコミュニティセンターにおいて開設しました。

- ・開催数 12回
- ・相談件数 2件

来談者のない時間は、一人暮らし老人の安否確認のための電話訪問を行っております。（希望者のみ）

- ・延件数 73件

(2) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

ひとりで生活していくには不安がある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用手続きの代行をはじめ、金銭管理等を行うため、9名の利用者に対し事業推進をしております。

10. 滑川社協 福祉サービスセンター

(1) 居宅介護支援事業（介護保険法）

ア 事業内容・・・要介護者のケアプラン作成

イ 事業実績

- ・年間利用者数 407 人 （昨年度 443 人）比較 8%減
- ・年間収入 4,928,006 円 （昨年度 5,253,613 円）

(2) 介護予防支援事業（滑川町受託）

ア 事業内容・・・要支援者のケアプラン作成

イ 事業実績

- ・年間利用者数 103 人 （昨年度 102 人）比較 0.9%増
- ・年間収入 471,578 円 （昨年度 472,894 円）

(3) 介護認定調査事業（滑川町他受託）

ア 事業内容・・・要介護、要支援認定調査の実施

イ 事業実績

・年間受託者数 3人 (昨年度3人)

・年間収入 11,000円 (昨年度13,040円)

(4) 生活支援ヘルパー派遣事業(社協単独事業)

ア 事業内容・・・生活に支障をきたしている者に対する身体介護・生活援助中心のサービス提供

イ 事業実績

・年間利用者数 なし (昨年度も同様)

・年間派遣日数 なし (昨年度も同様)

・年間派遣回数 なし (昨年度も同様)

・年間派遣時間 なし (昨年度も同様)

・年間収入 なし (昨年度も同様)

1 1. 団体事務局

(1) 滑川町老人クラブ連合会(会員数815名)

(2) 滑川町遺族会(会員数134名)

(3) 滑川町赤十字奉仕団(会員数103名)

(4) 滑川町ボランティア団体連絡会(11団体)

(5) 滑川町身障福祉会(会員数7名)

(附属明細書については省略)